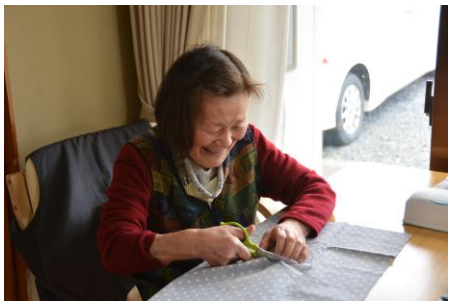
デイサービス ケアスタ中町の広報誌

晴耕雨読

[Seiko-udoku]
2020年3月 vol.20

CARE★STA

布マスク作りを始ました!



コロナウィルスの影響で、マスクが品薄の状態が続いています。なんとかしなければと思い立ち、布マスク作りを始めました。型はネットから探して、材料はダイソーから購入しました。

初めは戸惑いながら作っていたのですが、だんだん慣れてきて、ご自宅で作って来る利用者様もいらっしゃいます。

コロナ対策としてケアスタ中町では、送迎の際に非接触型の体温計で体温測定をさせていただいております。

▼芝生貼り

暖かくなってきたので、庭の芝生貼りを行っています。開所当時から芝生を植えて、今回で3年目になります。これまでは西洋芝を種から植えていたのですが、今年は高麗芝を貼るだけにしました。利用者様もやったことないと言いつつも、作業される手つきはテキパキトしています。芝生の綺麗な庭ができるように頑張っています。

▼キウイの棚づくり

昨年から育てていたキウイの棚づくりを行っています。単管パイプを使い、利用者様に教えられながら行いました。

▼じゃがいも植え

植えるなら今だぞ」と利用者様の指導を受けて、今年もじゃが芋を植えています。植えた品種は「キタアカリ」です。

▼生活リハビリいろいろ

料理」盛り付け」洗濯物たたみ」：「テーブル拭き」など、これまでの生活で行ってきたことをデイサービスでも行っていただいています。

HOMEPAGE
http://happy-seikoudoku.com

Facebook
https://www.facebook.com/caresta.day

詳しくは、https://happy-seikoudoku.com　をご覧ください！

デイサービス ケアスタ中町の広報誌

晴耕雨読

[Seiko-udoku]
2020年3月 vol.20
CARE★STA

作業療法士監修

一軒家“まるごと”生活リハビリ型デイサービス

令和２年４月より土曜日営業開始します！

生活リハビリとは？

ご自宅やデイサービスで、ご自分がしたいこと、できることを見つけ出し、生活動作として毎日繰り返すことで、身体的機能と認知機能の維持・向上を図ります。

テーブルを拭く、ご飯をよそう、配膳を手伝う、衣服の着脱を自身で行うなど、生活のなかのあらゆる場面で、ご利用者様が現在できることは可能な限りご自身で行っていただきます。また、少しだけ頑張っていただく選択プログラムもご用意しております。そのことが、生活の質の維持・向上につながると考えるからです。

さらに、ケアスタ中町では、お一人おひとりのご利用者の心に潜んでいる「てみたいこと」をご一緒に探し出し、そのことが実現できるようにサポートいたします。

☑様々なプログラムがありますので、集団になじめない方でも対応できます。また、これまでの生活習慣を変えないように、料理や掃除、社会参加プログラムもご用意しております。

認知機能や身体機能の維持・向上を図ることができます。

その方の生活の質の維持・向上が期待ができます。

「したいこと」を見つけ出すことで、意欲を引き出せます。

20種類以上の選択プログラム

パン作り、バイキング、コーヒーを豆から挽いて飲む、ノルディックウォーキングなど、紙面上では紹介しきれないプログラムを多数ご用意しております。それぞれのプログラムに目的と効果を設定して、プログラムを行う事で日常生活動作の訓練を楽しみながら行う事ができます。

「なじみの作業記憶」を活用

認知症の人は、なじみのない行動は苦手です。目的や手順を説明されても理解が難しかったり、忘れてしまったりして、混乱・困惑し、時にはやらされていることへの怒りを感じることもあるでしょう。

一方、積み重ねてきた作業を体が覚えていることってありますよね。認知症の人は、そうした「体で覚えたこと」「なじみの作業」は、失われにくい傾向があり、生活リハビリではまさにその人のなじみの作業を行います。慣れた行動、わかりやすい目的のため、前述のような感情にとらわれずにすみます。

見守りパトロールで社会参加

小学校の見守りパトロールを行っています。社会参加により、地域貢献ができます。地域での役割を持つことができます。孫たちの元気な顔がみれますよ！

＜お問い合わせ先＞
〒989-5145宮城県
栗原市金成中町西裏15-4
電話0228-24-8456
FAX0228-24-8457